

磐城時報

日十三
印刷所 加納活版所
印刷人 岡田弘成
発行所 磐城時報社
発行所 磐城時報社
電話 二一三三
代價 一月三圓
一月三圓
一月三圓
一月三圓

合併の運命を左右する けふの平窪村會

結局決戦投票で 交渉委員決定か

平・平窪の兩町村合併問題午後一時から村會を開き合併は平窪村側で村有林三百五併の交渉委員を擧げる事に十町歩の處分問題が起り一時的に委員は多分全村議を擧げ来たしてゐるが縣をこれに擧げられる模様で既報の如く出石總務部長ある、
孕石山林課長等が出張二十而して交渉委員の選任は合七日、八日に亘つて村議協併を條件としてゐる關係が議會を開き説得した結果反ら見て平・平窪の合併は今對派も或る程度まで納得しや確實化したものと見られたので平窪村では今三十日である

チフス全快者 四百余名の檢便

二月十五日から三月まで 平細菌検査所で行ふ

内郷村及び勿來町では昨年 査所に於て皆川技師が百二未曾有の腸チフス患者が發十五内外宛總人員四百十二生し平、植田兩警察署は勿名について検査する筈である論役場當局では之が豫防に腐心した結果幸ひ豫防陣に凱歌ががり現在では全く終息するに至つた、然し右全快者の中にも病菌保有者が屢報平町山文事件に聯座ないとも限らないので未然してこの程不拘束の儘收賄豫防の見地から全快者の糞で起訴され近く平窪の公判尿検査を行ふ事となつたがに附される石城郡飯野村大二月十五日から三月末まで 宇南白土宇古宿元平稅務署約一ヶ月半に亘り平細菌検査所長關根清四(四五)は濱町會は二十九日午前十時

川部村助役の 進退問題起る

例の村長選舉問題

既報書式不備から村會の決から開き疏安工場誘致の件議された川部村では二十八學校敷地擴張並に工費五萬日芳賀助役、村長當選者加圓の道路舗裝工事の件を附茂元吉氏等が出縣當局の指議した示を仰いだが縣當局が否認した理由は議事報告書の附議事項は議長提出案とする簡所を村長代理助役提出案と記載したため提案權のない村長代理者の村會として否認されたもので書類不備毎年の行事といふ可き舊正に付ては縣の注意をうけて月前後の風上げが最近行はも訂正しなかつた處から無れ、市中や郊外の電信電話効の宣告を發せられたもの線或ひは電線に之を引つて同助役の職務上の失態はかける者が多いので至郵便その進退問題に及びものであるが三十日左の如く語つた、

電線の附近で 風をあけてはならぬ

平郵便局で注意

即ち風の糸を傳はつて電流が逃げるので弱く電流となりこの爲め一刻を争ふ電報がおくれたりする、故に電線の近くで風を止げないやうに注意して貰ひたい、電信法第三十七條には、電信線に風が引つかうるため電報や電話に故障が起るが三十日左の如く語つた、

平消防組で 矢澤家に同情

バス延長

平消防組第二消防隊では火災に遭つた矢澤幸太郎親娘に對し金一掛を見舞金として贈つた

平・澤渡間 バス延長

好間軌道會社と三井自動車は平町から澤渡村下市まで運轉してゐるが二十九日三阪村上三阪字中町に至る七二キロの延長が許可されたので地方民は非常に便を蒙る事になつた

賊送檢

既報四倉署員富田巡查が久瀨町内に於て捕らいた風呂敷包とは知らずに平窪村に渡したが驛員は拾得者三犯今野丹平(二六)の犯行に付四倉署にては岩手、宮下拾得者を照會中である

命カラダ

豊間村下町中島喜一郎(四九)はゴム靴修繕を行ひ乍ら會津地方に赴いてゐたが仕事がなく乞食同様の姿になり去る二十五日には坂下町から若松に赴く途中負傷し働けず出来なくなつたので二十八日若松人事相たので二十八日若松人事相を助けて里に歸る旅費を給與方を願ひ出でた、同署では宿料と汽車賃を與へて立去らした

工場監督官 手當法指示

本縣工場監督所官補菅野福七氏は今二十日平署の出署の留置場に入れたが菜場を

ガソリンカーの中に 置き忘れた四千二百圓

拾得者の名が判らぬ

の懲役又は五百圓以下の罰金に處す、
とあり又三十九條には、
電信、電話の線條若しくはその支持物に物品を懸けたり若しくは擲り又は之に動

平檢事局 昨年取扱數

平檢事局昨年中の受理件數は一千九百九十五件で前年比にして一割弱の百五十(四増)△強姦九(二増)△住居侵入四七(一六増)△殺人八(一増)△強姦四(一減)△強姦三(二増)

墓石を片つ端から 打ち倒す怪漢

捕れて見れば低能兒

打倒す怪漢

二十九日午後一時頃小名濱見ると小濱に觸つて仕方がなかり去る二十五日には坂下町から若松に赴く途中負傷し働けず出来なくなつたので二十八日若松人事相を助けて里に歸る旅費を給與方を願ひ出でた、同署では宿料と汽車賃を與へて立去らした

大景品付 特賣大賣出!

ニオンス入(金三十圓)御買上の方へ抽籤にて左記景品遊星
一等 ライト草年筆……一本
二等 ライト二色シャープ一本
三等 ライト自由日記……一冊
四等 セルロイドポケットカレンダー一個

カソリンカーの中に 置き忘れた四千二百圓

拾得者の名が判らぬ

平檢事局 昨年取扱數

平檢事局昨年中の受理件數は一千九百九十五件で前年比にして一割弱の百五十(四増)△強姦九(二増)△住居侵入四七(一六増)△殺人八(一増)△強姦四(一減)△強姦三(二増)

墓石を片つ端から 打ち倒す怪漢

捕れて見れば低能兒

電線の附近で 風をあけてはならぬ

平郵便局で注意

平消防組で 矢澤家に同情

バス延長

川部村助役の 進退問題起る

例の村長選舉問題

チフス全快者 四百余名の檢便

二月十五日から三月まで
平細菌検査所で行ふ

合併の運命を左右する けふの平窪村會

結局決戦投票で
交渉委員決定か

